



平成20年11月10日

各 位

会 社 名 リバーエレテック株式会社
代表者名 代表取締役社長 若 尾 富 士 男
(J A S D A Q ・ コード番号 : 6 6 6 6)
問合せ先 取締役総務本部長 大 塩 久 男
T E L 0 5 5 1 - 2 2 - 1 2 1 1

平成21年3月期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年5月12日に公表した平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(金額の単位：百万円)

平成21年3月期通期 連結業績予想の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	9,254	493	466	243	32円47銭
今回修正予想（B）	6,770	△680	△672	△834	△111円39銭
増減額（B－A）	△2,483	△1,174	△1,139	△1,077	－
増減率（％）	△26.8	－	－	－	－
（ご参考）前期実績 （平成20年3月期）	9,287	992	998	588	78円51銭

2. 個別業績予想の修正

(金額の単位：百万円)

平成21年3月期通期 個別業績予想の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	9,114	475	444	225	30円08銭
今回修正予想（B）	6,274	△77	△68	△89	△11円90銭
増減額（B－A）	△2,839	△552	△513	△314	－
増減率（％）	△31.2	－	－	－	－
（ご参考）前期実績 （平成20年3月期）	8,567	832	843	489	65円36銭

3. 修正の理由

(1) 連結業績予想

今後の見通しにつきましては、金融・資本市場を中心とする景気動向において、さらに不透明感が増すものと思われ、第3四半期以降も厳しい経営環境が予想されます。

当社グループとしても、強みである超小型水晶製品の市場開拓を進めるとともに提案営業力の強化、生産設備の稼働効率の向上及び固定費圧縮等のコスト削減に努めてまいります。市況悪化の影響による受注数量の低下や競争激化による販売価格下落の懸念もあり、引き続き厳しい状況が見込まれます。

第2四半期累計期間の業績及びこれらの状況を考慮し、平成20年5月12日公表の通期の業績予想を修正いたします。

当社は、水晶製品への依存度が連結売上高の9割を超えており、また当社水晶製品は最終消費者向けの製品に使用される割合が高いことから個人消費等の後退局面化においては需要が減少する事業上のリスクを抱えております。

このような背景から当社においては、第3四半期以降もデジタル機器の世界的な需要低迷から、水晶製品市場の供給能力過剰の状態となり販売競争が激化することが予想され、売上高においては、携帯電話・無線モジュール向け製品を中心に水晶製品の販売数量（前回予想比24.8%減）、販売価格（同4.2%減）ともにそれぞれ前回予想を下回る6,770百万円（同26.8%減）となる見込みであります。

利益面においては、売上高減少の影響が大きく、営業損失680百万円（前回予想は493百万円の営業利益）、経常損失672百万円（同466百万円の経常利益）、当期純損失834百万円（同243百万円の当期純利益）となる見込みであります。

(2) 個別業績予想

通期個別業績予想につきましても、上記と同様の要因であります。なお、連結との利益の増減幅の差につきましては、当社は、水晶製品は全て連結子会社から仕入れを行なっておりますが、市場価格に連動している当社製品仕入価格の低下に対して子会社の原価低減が追いつかず当社の利益に対して子会社の利益の減少幅が大きくなっております。

4. 配当予想の修正

	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想	7円50銭	7円50銭	15円00銭
今回修正予想	3円00銭	0円00銭	3円00銭
（ご参考）前期の1株当たり配当実績	7円50銭	7円50銭	15円00銭

5. 修正の理由

当社は、長期安定的な企業価値向上によって、株主への安定的な配当を継続的に行うことを経営の最重要課題とし、これに加え連結業績及び配当性向等を総合的に勘案した利益還元を行うことを基本方針としております。配当性向につきましては、連結当期純利益の20%を最低の目安としております。当期の第2四半期累計期間における連結四半期純損失が242百万円と前回予想を下回る中で、株主への安定的な配当を継続的に行うことを勘案し、また当社の繰越利益剰余金につきましても一定額が確保されていること等により、1株当たり第2四半期末配当を誠に遺憾ながら3円に修正させていただく予定であります。

また、1株当たり期末配当の予想につきましては、通期業績予想の修正のとおり、当期純損失の拡大が予想されることから無配に修正させていただきたいと存じます。株主の皆様には誠に申し訳ありませんが、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

6. 役員報酬のカット

平成21年3月期の業績予想及び配当予想の修正に対する経営責任を明確にするために平成20年10月から平成21年6月までの期間、取締役の報酬を10%～15%カットいたします。また、監査役の報酬につきましても10%～40%カットいたします。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により、上記予想数値と異なる可能性があります。

以 上